

2019年2月14日
アースサイドグループ
株式会社トレード

京都きのご研究所 移転拡充

栽培技術から商品開発までをワンストップで取り組む

アースサイドグループの株式会社トレード（本社：京都市、代表取締役社長：稲田 信二、以下「トレード」）は、この度京都府宇治市の研究施設「京都きのご研究所」を京都府城陽市に移転拡充し、研究開発力を強化します。

トレードは、2016年に京都きのご研究所を設置。安定的な農業生産システムの構築を目指し、菌床しいたけの栽培実験を行ってきました。また生産した品を、同社が展開する京野菜ブランド『洛市』の「生椎茸」として販売しています。2017年には、京都府南山城村と大規模工場の立地に関する協定に調印。同村初の誘致企業として、2020年の稼働を目指して工場建設計画を推進しています。

このような背景のもと、新たな研究所では大規模工場での栽培を想定した実証実験を行います。環境制御やゾーニングなどによる衛生管理を導入し、さらなる品質の安定と向上を目指します。さらに、菌床製造や加工、新たな品種の栽培実験などを独自で開発します。

アースサイドグループでは、2006年より植物工場をはじめとした生産事業に取り組んでおり、これまでの知見を生かし本研究所の設備設計を行いました。

今後もトレードは、安定的な農業生産システムの構築に取り組み、農業の生産力強化に貢献していきます。



京都きのご研究所 外観



栽培の様子

News Release



南山城村との調印式の様子



京野菜ブランド『洛市』の
「生椎茸」

◆施設概要

名称	京都きのこ研究所
稼働開始日	2019年2月
住所	京都府城陽市観音堂北田92番1
生産規模	約2万菌床(23t)/年
設備	仕込み室、接種室、培養室、発生室、冷蔵庫 実験室、加工室

◆株式会社トレード 事業概要

<転送事業>

全国の卸売市場間で1日約600tの野菜を取引しています。野菜の量が多い市場から仕入れ、少ない市場に転送することで、日々変動する需給バランスを整え価格の安定化を図っています。

<ブランド野菜事業>

生産者から仕入れた野菜をブランド化し、消費者に届けています。一定価格での仕入れと販売により、生産者と消費者の双方に価値を提供しています。

京野菜ブランド『洛市』

京都府内で生産された野菜を生産者から直接仕入れ、一定価格で販売。約50品目を全国約800店のスーパー、百貨店で展開



地域野菜ブランド『地選』

日本全国の地域で埋もれる価値ある野菜を発掘し、統一ブランドで商品化。奈良県大和高田市の「大和一光ねぎ」などを販売



CHISEN

<生産事業>

きのこの室内菌床栽培とグリーンハウスにおける小松菜の無農薬栽培を通して、安定的な農業生産システムの構築を目指しています。

News Release

<外食事業>

日本の和食文化を継承し現代風にアレンジした食事を提供するデリカテッセン「nonahan~のなはん~」を展開。グループの総合力を生かしながら、新鮮な野菜の魅力や和食文化を京都から世界に向けて発信します。



<会社概要>

社名	株式会社トレード
本社所在地	京都市下京区中堂寺粟田町 90 番地 KRP8 号館
代表	代表取締役社長 稲田信二
資本金	1,000 万円
設立	2001 年 8 月 1 日
売上高	228.3 億円 (2018 年 3 月期)
従業員数	160 名 (2018 年 3 月末現在。パート社員含む)

【本リリースに関する問い合わせ】

アースサイドグループ 広報部 岡井、安藤

E-mail : info@earthside.com

TEL : 050-3852-0561 (広報部直通)
075-316-6020 (代表)